

部局名	安全環境部	所属名	クリーン推進課	所属長名	巢立 弘志	電 話	483-1151 内線3220
-----	-------	-----	---------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3242		事務事業名称	し尿処理事業					短縮コード	経常	3242	臨時	3243
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	03	し尿処理費	
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律，同施行令，同施行規則， 八千代市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例，同施行規則， 下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法 浄化槽法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
し尿処理業務は，民間業者が数社で作業をしていたが，法改正により業務遂行が不可能になり，代わって財団法人八千代市衛生公社を昭和42年に設立して，市の委託を受け業務を開始した。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	03	第3章環境共生都市をめざして					
公共下水道等の整備に伴い，計画処理能力に比べ実際に処理しているし尿や浄化槽汚泥の量が年々減少してきている。また，浄化槽の整備に伴い，収集されるくみ取りし尿が減少し，浄化槽汚泥の収集割合が増加する傾向となっている。 現在の施設は，一般的な耐用年数を超えて稼動を継続しており，突発的な故障の発生もある。 しかしながら，し尿処理を継続的に維持していくためには，本市の財政状況は逼迫しており，公共サービスの質的安定と経済効率の両側面での向上が求められている。 し尿処理事業も見据えた，市の一般廃棄物処理基本計画の基本理念は，循環型社会への転換であるが，その視点に立って見た場合，これまでの，し尿等の衛生処理，周辺環境負荷の軽減に加え，廃棄物系バイオマスの利活用を含めて資源循環型社会の形成に寄与することも求められている。 こうした状況について，環境は広域化による対策を提言しているが，本市周辺自治体との連携は，費用やコストの問題など，解決せねばならない課題が山積している。						大項目（節）	02	第2節資源循環型社会の形成					
						中 項 目	01	1. 一般廃棄物					
						小項目（施策）	03	(3)し尿の適正処理体制の整備					
						細 項 目	01	①衛生センターの適正な管理運営					
02	②衛生センターの維持管理												
					実 施 計 画 の 計 画 事 業								
計画事業の位置付けの有無				<input type="checkbox"/>	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・し尿 ・浄化槽汚泥 ・市民，事業者						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： ①し尿収集運搬業務を環境緑化公社へ委託 ②し尿汲取り申請受付業務 ③し尿汲取り手数料の賦課・徴収業務 ④過誤納金の還付						
	※平成25年度に計画していること： 前年度と同じ						
意図 （何を狙っているのか）	し尿汲取り業務を効率的に行い、生活環境の保全を図る。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	し尿処理人口	人	1, 514	1, 852	1, 316	1, 185
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	し尿汲取り件数	件	8, 438	8, 016	8, 144	8, 026
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	1 件あたりの処理コスト	円	3, 383	2, 770	2, 650	2, 233
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

